2019年7月25日

神奈川県版図上訓練実行委員会（仮称）

神奈川県版図上訓練（仮）第２回実行委員会

Agenda

1. 挨拶《市原》19:00～19:05
2. 意識共有《沢田》19:05～19:15
3. 訓練の具体的な実施案について《沢田・市原・尾上など》19:15～19:30
4. 今後の会議に関する説明《沢田・市原》19:30～19:40
5. ディスカッション《参加者全員》19:40～20:10

《学生部門》別室でお願いします。

　（記録や発表など、お願いします。）

1. 発表《参加者全員》20:10～20:30
2. 取り決め事項の議論20:30～
3. 次回会議開催日について20:35～20:40
4. 挨拶（20:50終了）《沢田》20:40～20:45

意識共有

《経緯》

* 2017年7月 さくら会議発足（以降、原則月１回程度開催）
* 2018年4月頃から、さくら会議の中で広域連携の仕組み作りの必要性が議論され、その手段のひとつとして静岡図上訓練に類する神奈川県版の図上訓練を計画・実施することが提案された（その後、さくら会議では毎月本件に関する議論を重ねた）
* 2019年6月6日に、本実行委員会の設立に関する説明会を実施
* 2019年7月4日に、第1回実行委員会を実施
* 2019年7月25日に、第2回目実行委員会を実施
* 目下、実行委員コアメンバを中心に実行委員会の体制を整備中

《備考》

* 上記経緯はWEBサイトに掲載する予定
* 県民活動サポートセンターより、神奈川県の広域連携および中間支援組織に関する補足説明を頂戴します

議案

以下を第２回実行委員会（仮）の議題として提案します。

３．訓練の具体的な実施案

1. いつ

開催月には以下の案があります。

* 2020年1月・3月・4月・10月（左記案の理由は、毎年2月には静岡図上訓練、6月にはJVOADフォーラム（東京）が予定されているため）
* 3月11日開催案もあります
1. どこで

会場には以下の案があります（括弧内は収容人数）。

* 神奈川県県民サポートセンター大ホール（200名程度）
* 横浜市市民防災センター体育館（100名～200名程度）
* 神奈川県小田原合同庁舎災害時活動スペース、災害対策用待機宿舎、屋上ヘリコプター緊急離着陸場（200名程度）
* 神奈川県立武道館武道場など（400～600人）

会場としてお借りできそうな、可能性がある場所の候補もあります。

* 関東学院大学（横浜市金沢区）
* 神奈川大学（横浜市神奈川区）
* 東海大学（平塚市など）
1. 誰が

神奈川県版図上訓練（仮称）実行委員会（我々です）

1. 何を

訓練の内容には以下の案があります。

* 神奈川県内の、災害NPO団体、行政、社協、企業、学校等に所属する人、および、県外の災害NPO団体等を対象とした、室内型の災害想定模擬訓練、および、交流（具体的には、静岡図上訓練のような災害想定に基づくワークショップと顔の見える関係作りを実現する訓練を実施）
* 神奈川県地震被害想定調査結果、例えば、神奈川県内の被害が最も大きな大正型関東地震（関東大震災）発災時の被害想定を基に、神奈川県内各地の平時の備えや、発生することが想定される状況をシミュレーションし、必要な備えを検討することで、神奈川県の防災力と減災力の向上に寄与する

参考１（静岡図上訓練）：

<http://www.chabashira.co.jp/~evolnt/_src/25214/14zujyouhoukoku.pdf>

参考２（神奈川県地震被害想定調査）：

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/cnt/f5151/documents/769596.pdf>

1. どのようにして

訓練の準備手順・方法には以下の案があります。

* 静岡図上訓練など他県の事例の良いところは真似をしつつも、神奈川県の特性および被害想定に照らして最適な形にすることで、神奈川県の防災力と減災力に寄与することを念頭に置く
* 本日（7月25日）の実行委員会より具体的な意見交換を行い、開催に向けて必要な事項を議論する
* 県内外の広い属性の人を対象とした県域全体会の実施を検討する（本図上訓練の実施前に開催することを望む声がある）
1. 規模

訓練の規模には以下の案があります。

* 開催日数は、1日間、または、2日間程度
* 参加人数は、200名、または、400名程度
1. 何のために

神奈川県の防災力と受援力の向上を目指すため

（補足説明）

* 神奈川県内では災害想定を元に全県域対象の訓練などを開催したことがない
* 県の災害想定によれば、大正型関東地震では**死者31,550人**、**1ヶ月後**の**避難者数2,793,550人**とされている。これだけの規模の被災想定が公開（公表）されているにもかかわらず、神奈川県内では県域以上の規模の訓練が実施されていない
* 当該被害想定を考慮すれば**発災後1か月～3か月**の間における災害ボランティア（広域でのボランティア＆活動者および諸団体を含む）の活動は必要であり、事前に県内外の関係者間の顔の見える関係の構築と被害想定に基づいた想定訓練を行っておくことで被害の軽減に寄与すると考えられる

参考３（想定地震（大正型関東地震）について）

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/j8g/cnt/f480078/p1039800.html>

４．今後の会議に関する説明

本実行委員会が開催する会議に関し、以下の案があります。

* 以下①②の機能を持つ、複数の会議（話し合いの場）が必要と考えます
1. 全体会議（仮称）

参加者：どなたでも

内容：本訓練をより良いものにするための説明会、および意見交換の場

開催頻度：本訓練実施前に数回程度

1. コアメンバー会議（仮称）

参加者：実行委員会メンバーおよびオブザーバー（その他、ご協力をいただける方の参加を妨げない）

内容：企画、運営、準備、渉外、事務、会計等の実務者による連絡調整会議

開催頻度：必要に応じて適宜（オンライン会議も含む）

コアメンバーの役務として以下の案があります。コアメンバーの方は原則１以上の役務に就いてください。

* 広報（WEB、印刷物、郵便物などによる参加者および協力者を募る広報活動）
* 総務（連絡、会場、物品管理、日程調整、物品管理など）
* 渉外（協力者、メディア対応）
* 会計（財務、会計）
* 会議（会議の企画、開催、案内、進行、議事録作成など）
* 事務局（上記全てに関わる）

５・ディスカッション

６・発表をお願いします。

７．取り決め事項の議論

名称等について以下の案（候補）があります。その他の案も募集します。

1. 事業（訓練）の名称（事業自体の名称で、2020年度訓練開催終了で終わる）

1.神奈川県災害図上訓練２０２０

2.広域連携かながわ図上訓練２０２０

3.神奈川広域連携図上訓練２０２０

1. 全体会議（仮称）の名称

1.神奈川県災害図上訓練２０２０会議（または協力者会議）

2.広域連携かながわ図上訓練２０２０会議（または協力者会議）

3.神奈川広域連携図上訓練２０２０会議（または協力者会議）

1. コアメンバー会議（仮称）の名称

1.神奈川県災害図上訓練２０２０実行委員会

2.広域連携かながわ図上訓練２０２０実行委員会

3.神奈川広域連携図上訓練２０２０実行委員会

８．次回会議開催日について

次回の会議開催日について以下の案があります。

* 全体会議（仮称）9月（メール，WEB，FBで広報）
* コアメンバー会議（仮称）8月26・27・28・29日（月火水木）19時～

以上